



St Bede's School



PREP SCHOOL



智気くん努力賞を受賞
記念のメダル



St Bede's School

Tomoki Fujino (year7) 藤野智気

Welcome to boarding at St Bede's. Here at Meads End we make you feel relaxed and as much at home as possible. We want to make your time at St Bede's a safe, memorable and fun one. In this handbook we hope you will find all the necessary details to help you begin your time here. Please read through everything carefully, there are lots of things that you and your parents will need to know.

Yukana Shimamura (year8) 島村有郁樹



St Bede's School

こんばんは。お世話になります。

本日、成績表が届きました。ありがとうございます。偶然にもイギリスの有郁樹から手紙が届き、さらには今朝ゆかなから電話が入りました。(甥っ子が誕生日なため誕生日の歌を歌ってくれました。)学校では、まだ英語がよくわからないので、授業は難しいけれど…といいながらも大変元気な声でした。本人は学校ではおとなしくしているといっていました。が、寮では元気よく楽しんでいるようでした。ELAといったでしょうか英語力の足りない子達の授業で日本の文化を調べ発表するようで、有郁樹は「節分」にするとのことでした。文化を知って大事なことだよ～などと話しておりました。日本の行事について話を聞いていると、いなほ保育園で育ったことが身体に組み込まれているなあ。と感じます。まさに「節分」がありました。これからが楽しみです。また、春休みに私達が行く事ことも励みになっているように感じました。本当に皆様のおかげで順調に留学生活が送れておりますこと、感謝申し上げます。ありがとうございます。島村有郁樹(母)



NURSERY AND PRE-PREP
PREP SCHOOL
LEGAT SCHOOL
SUMMER SCHOOL
ST BEDE'S ASSOCIATION



NZ Culinary Fare Competitions 2010 Class Margarine Carving Buffet Showpiece 金賞受賞



飯島拓也

小澤公治様からのお手紙

お元気で何よりです。

こちらこそご無沙汰しております。拓也君の近況ご連絡有難うございました。

先ずは、社会人として第1歩を踏み出されたこと、良かったです。児童期から少年期的人格形成時期の難しさ個性の発見は、発達段階での環境(社会環境、人間関係環境、個人の心の環境)などなどで、左右の振れが大きく、その扱いは、時に厳しく、時に優しく、褒めてやらねば自立が出来ない、難しい時期に自然に接触できない、一人格者と認めない、目標が(やる気)もてない、幼年期のわがままから、離別出来ない(大人も子供も)このようなこと、言うは易くも、小生のようなものが語るに劣りますが、先生方のご努力に、ただただ低頭するばかりです。

以前申し上げたことがありましたでしょうか、我が市の姉妹都市がNZにあり、市長達と交流のため、Wakatake(正確でないかも)に伺い、ある牧場主のところしショートステイをしたとき広島県出身の青年が手伝っていました。彼は日本の大学受験に失敗しNZに逃避の状態目標を失い抜け殻のような気力のない、生活を繰り返していました。

1年後帰国するとの事で、帰国したとき我が家に来ていただき、色々話して、牧場の仕事を続けるか、将来牧場でも経営するのか、それとも折角NZに居るのだから、それを生かして目標の大学に進学するのか、自分の人生をどう切り開いていくのか、私のつたない経験から(脱サラ、起業)小社の現状を見せながら、文なしから起業した経緯を話して、彼が自ら目標を持ち進むようにと…離別の時、再考の結果長期滞在ビザを取得して(留学ビザ)NZを再訪することとなり、私は、交流のある現地市長に応援を求めました。その後彼はNZの高校に在学しながら牧場で働き、NZの大学に入りました。

現在、生き生きと大学生活と牧場のアルバイトをしながら、市のボランティアグループでも、活躍しています。現地のの方々も彼に、とてもよく接してくださり、すばらしい(うらやましいかも)青年期を過ごしています。将来は現地で、または帰国して、どのように…彼が自ら決断して切り開いていくでしょう。

田中英明(アートプロデューサー)

難波様

飯島拓也君にお会いできて刺激をいただきました。どうもありがとうございます。将来的に何かコラボレーション等できたらと思いました。今後ともよろしく願ひいたします。

飯島啓司・良子

拓也へ

2010年のNSIA出場者をざっとカウントしたが、銅賞32、銀賞24、金賞11、合計94クラスで選抜され、さらにゴールドとは非常に光栄S123マーガリンはゴールドが5名いるが、TIM先生との出会いも含め、ラッキーだぞ「金」は「金」だ!!よくやった。価値ある「金」だ。

P.S.考える人(ロゲン)とはアイデア勝ちだな(笑) 拓也父。

<ミッチー先生へ>ご連絡ありがとうございます。信じられない気持ちでいっぱいです。飯島から「拓也はプレッシャーを感じていたみたい」だと聞きました。アイエルツに続いて大きな自信となったと思います。本当に良く頑張ったと思います。またいつも本当に頑張っていると思います。今まで支えて頂いた皆様に、どんなに感謝してもし尽せない気持ちでいっぱいです。ミッチー先生、本当にありがとうございます。今後どうぞ拓也を宜しく願ひ致します。 拓也母。

2年ぶりの日本 酒井亮

New Zealand



夏休みを利用してニュージーランドから2年ぶりに帰国しました。帰国して感じたこと、一言で言えば、身体面と精神面の両方で感じる「違和感」。身体面で言えば、時差ぼけはもちろん、気候の変化に順応するまでに2週間ほどかかりました。帰国した11月中旬の時点では、気温だけ見ればNZと日本はほぼ同じくらい。ただ大きく違うのは、NZが夏に向かっていくのに対して、日本は冬に向かっていくということ。自分の体は夏の準備を始めていたのに、それを強制的にキャンセルして冬の準備をしなければならない。具体的に言えば、気温の変化、特に暑さに対してとても敏感になりました。他の人がダウンジャケットを着ている中、自分はシャツ一枚でも特に寒さは感じなかったりしたこともありました。精神面の違和感というと、自分の頭の中に流れ込んでくる情報量の違い。NZにいる時は言葉の問題もあり、意識してテレビを観たり、新聞を読んだりしなければ情報は入ってこなかった。帰国して感じたことは、日本は情報があふれかえっているということ。テレビ、新聞、雑誌、インターネット。生活しているだけで自然に情報が流れ込んでくるような気になる。特に知る必要のない情報までも。これは利便性を追求した結果なのかもしれない。でも、言葉の面を差し引いても、日本は情報過多のような気がする。「違和感」を取り除き、環境の変化に対する適応能力(図太さ)は日本人に足りないような気がする。自分のフラットメイトの中国人留学生や友達中国人と付き合ってみてわかった事は、中国人は良く言えばとてもたくましい、悪く言えばずうずうしい。正直、あまりの厚かましさに腹が立つこともしばしばですが、世界のあらゆる国々に適応する中国人の妻さかいかい見たような気がした。ただし、自分が付き合っているのはあくまでも「海外に住んでいる中国人」。中国国内の中国人とは違うのかもしれない。というわけで、フラットメイトを頼って、上海に行ってきました。上海の印象としては、東京をふた回りぐらい大きくしたようは感じ。あと、やっぱり目に付いたのが人の多さ。東京も場所によっては混んでいますが、上海はあらゆる場所が混んでいるという印象。それにプラスして、東京よりも雑然としている分、圧迫感は感じました。そして、人々の目は良くも悪くもギラギラしていて、とにかくエネルギーに満ち溢れていました。日本と中国、隣人として、急速なグローバル化の波をうまく乗りこなすためにはお互いに学ぶべきところがあるような気がする。

Congratulations!!

* 島村有郁樹



St.Bede's Prep school入学

* 藤野智気



St.Bede's Prep school入学

* 田淵 愛



Long Bay College高校入学

* 小林真凜



Long Bay College高校入学

* 佐々晴香



Long Bay College高校入学

* 飯島拓也



2010 Class Margarine Carving Buffet Showpiece 金賞受賞
NSIA調理専門学校卒業、ルネサンス高校卒業

* 川嶋良尚



Long Bay College高校卒業、メリット賞受賞
ホワイテクリフ美術カレッジ入学

* 江原 悠



ビクトリア市立スペクトラム高校卒業

* 依田龍介



IELTS 6 取得

* 高村 弦



IELTS 5 取得

* 土屋なつき

玉川聖学院・高等部入学

* 古賀英里子

ルネサンス高校卒業、慶応大学看護学部入学

* 鈴木 恵

世田谷区民絵画展入選

* 菅野 唯

日本エステーション資格取得

* 伊達悠真

東京国際学園高等部入学